

2025年6月30日

小山田小

町田市立小山田小学校
校長 俵田 隆良
令和7年度学校だより 第4号

<http://www.machida-tky.jp/e-oyamada/>

興味、関心、好奇心

副校長 坂之上 富隆

先日夏至を迎えました。1年で昼間が一番長い日です。6月下旬にやってくるようになっていきます。子供のころは夏休み中の8月が暑いから、一番昼間も長いと思っていました。大人になって初めて知ったこともあったり、最近になって初めて知ったなんてこともあったりします。「そうだったんだ。」と思える時は幸せな気分になります。

先生になってしばらくしたところです。電車に乗って夜だったので窓に顔が映っていました。眼鏡を拭こうと外した時、「あれ。」自分の顔は近いのである程度見えるのですが、その後ろの様子がぼやけて見えないのです。「窓に映っているものを見ているのにどうして見えないんだ。」

『見る』ということは、光を感じているので窓に映っていても距離が違うのだと何となく原理はわかっても「目の前に映っている窓を見ているのに。」この不思議がどうしても未だに残っています。

こうしてみると世の中には不思議だらけです。携帯電話の充電がどうして盤の上に載せるだけでできるのか。月が時々大きくオレンジ色に見えるのはどうしてか。あんなに大きく重たい飛行機が空を飛べるのか。作った人やわかっている人にとっては当たり前のことかもしれません。しかし不思議に思う好奇心がとても大切なものだと思っています。

小さいころは皆さん好奇心の塊でした。おうちの人に「どうして。」「なんで。」って聞きまくっていたのではないのでしょうか。子供の特権だと思います。そこからいろいろなことを学んでいくことになります。

今町田市では『学び続ける力』の育成に力を入れています。その大きな要因は間違いなく『興味・関心』だと思います。さらにそのもとになるであろう好奇心を大切に持ち続けていけるようにしていきたいと考えています。子供たちは元々好奇心の塊です。

もうすぐ夏休みです。たくさんの「なぜ。」「どうして。」「不思議だな。」という経験ができるといいなと思っています。保護者の皆様もぜひ子供たちと一緒に不思議を共有できるといいなと思っています。

少し早いですが、1学期間本校の教育活動をご理解いただきご協力賜りましたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

